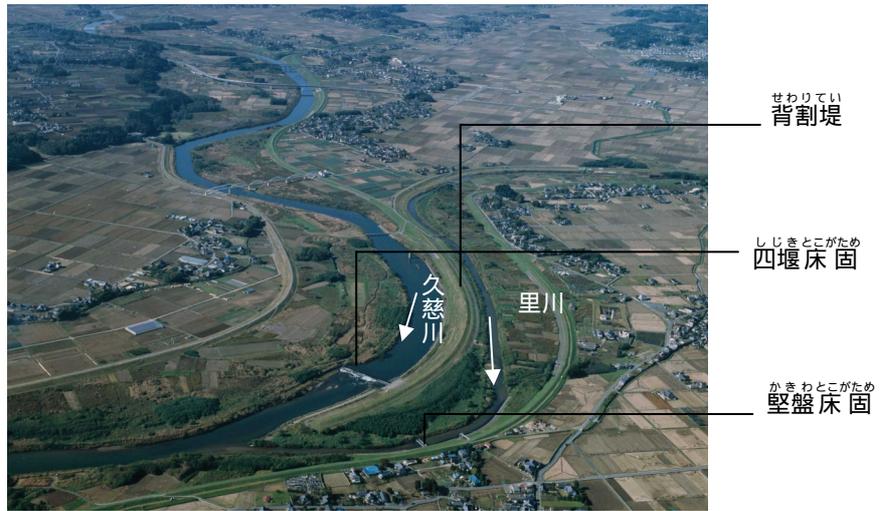


a . 里川合流部改修工事

久慈川は里川合流点下流で大きく湾曲し、しばしば旧堤を破壊していた。改修工事は、昭和13年（1938）にまず里川の合流点付近の掘削・築堤工事から始められたが、第2次世界大戦の間工事は中断され、戦後の再開により昭和24年（1949）にはほぼ里川地区の堤防工事は完成した。

その後、昭和26・27年にこの里川合流処理に伴う背割堤などの河川改修工事を実施した。

工事は、右岸側那珂郡神崎村（現那珂市）本米崎地先の築堤を行い、河道右岸寄りに捷水路を開削して本川を流下させ洪水時の疎通を図り、さらに里川を旧本川沿いに流下させて合流点を約1 km下流にすることにより、里川と本川の間に背割堤を設け、久慈川の洪水時に里川への逆流を緩和させた。



里川合流部付近(常陸太田市) (平成15年11月撮影)

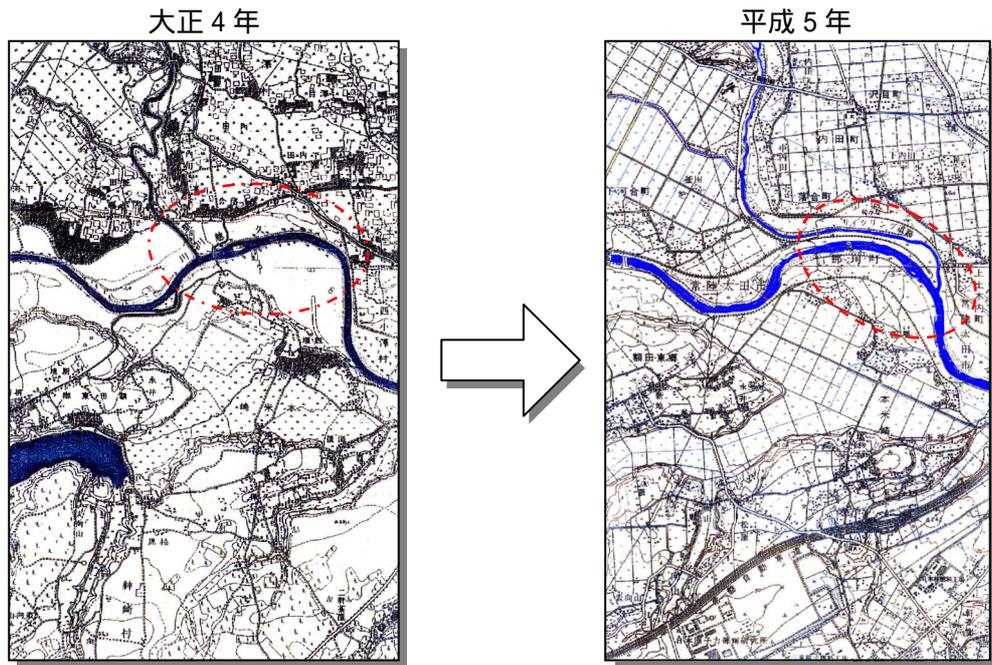


図 3-5 里川合流部付近の河道の変遷